

# 清里 まちづくり

## No.31

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341



### 食育活動知事表彰

『食育推進活動優良表彰受賞して』

11月25日、群馬県庁において清里まちづくり協議会・食育部会が表題の食育推進活動優良表彰を受賞いたしました。

群馬県内から六団体、家庭・地域部門の代表として、清里産枝豆・玉ねぎを使った「きよさと焼」の考案と各行事への積極参加、地元小学校での児童を対象とした実習体験を継続的に行うなど、地産地消の推進と地域コミュニティに大きく貢献している事が受賞理由との事でした。この模様は当日の夜二回に渡り、群馬テレビで清里小学校での実習体験時の写真と併せて詳しく紹介されました。

平成19年、清里まちづくり協議会発足にともない協議会の一部会である食育部会として何が出来るかを考え、地域性等を考慮し、「きよさと焼」を考案しました。当初は食べていただいた方から沢山の意見を頂戴し、毎年改良を重ねつつ多くの皆様から美味しいと評価される迄に至りました。スタート時から一貫し積極的に応援して頂いた市の担当部の後押しもあり、「きよさと焼」も清里地区だけに留まらず他のまちづくり協議会からも各種イベント開催時等に来店依頼を頂くようになり、その重さを痛感しておりますが、現在のスタッフでは人数的に総てに対応す

ることは出来ません。是非、多くの皆様のご参加をいただき、食育部会の人数を増やす事で皆様のご期待に答えられればと思います。“皆様方の積極的なご参加を”

(事務局長 松下博寿)



食育推進活動優良表彰受賞

### 清里まちづくり活動

#### そば打ち部会

『文化祭のそば打ち』

今回の文化祭では、前橋保健所の指導で、野外でのそば打ち禁止により、離れた屋内での作業になり、効率が悪くなによりお客さんの反応を見られなかった事が残念でした。保健所としては、衛生面の事を考えた上での事とは思いますが、今後の事を思うと屋外でそばを打つことが出来ればと思います。特に文化祭等では、日頃の成果を発表し、地域の皆様に見て頂く、あるいは食べていただくことが、私達にとって、

お客さんの反応をじかに感じる事が出来、それが喜びに繋がることにもなります。もちろん喜んでいただくのがベストとは思いますが、時には辛辣な言葉を浴びせられることもあるでしょう。それが、もっと上手に、もう少し頑張ろうの心意気にも繋がります。その他にも、蕎麦が作られる過程も見て頂きたいのです。

『ソバの種まきから刈り取りまで』

今回で三度目となる蕎麦の作付けについては、作付け面積は同じものの、発芽してまもない頃、台風の影響で倒れてしまったこと、及び、うどん粉病の発生、種を厚く蒔きすぎたこと等により、見た目の収穫量は少なめな感じがあります。昨年の教訓から、泥・小石等が入らないよう、刈り取り時に十分な注意を払い、昨年の失敗を繰り返さないように頑張ったつもりです。

11月30日に、子どもたちの参加を得て脱穀作業を行いました。どんなそば粉が出来上がるのか、乞うご期待です。

(そば打ち部会 小林 定男)



文化祭でのそば打ちの様子

## 食育部会

### 『「きよさと焼」教室を終えて』

毎年小学3年生を対象として地元で取れる野菜を使った「きよさと焼」を作って食べようという教室を食育部会が開催しています。

10月18日の午後、3年生38名が清里公民館に集まり、4名のお母さんを手伝ってもらい実習が始まりました。今回初めて「きよさと焼」を食べる子どもが大勢いたのはちょっとショックでしたが、皆楽しみにしていました。目をキラキラさせていました。

今回はホットプレートで、自分が食べる分を自分で焼いてひっくり返すという作業をしてもらいました。上手に焼けた子や心配そうに眺めている子ども自分で作る楽しさや難しさを体験できたと思います。

最後に感想を聞くと、焼いてもらうよりも自分で焼いた「きよさと焼」がおいしかったようで、みんな嬉しそうに帰っていったのでほっとしました。これから「きよさと焼」教室は続けて行きたいと思います。



おいしかった「きよさと焼」

### 『清里地区文化祭』を終えて』

食育部会では、清里地区恒例の「文化祭」で「きよさと焼」の販売を行いました。天気もよく、早い時間からお客様が待つていて「きよさと焼」が食べたくてね」と声を掛けていただき本当に嬉しかったです。中には「きよさと焼」が買えるのは、年に一回だけだから」と言う意見もあり、地域の皆様にもっと食べていただく機会を作らなければと考えさせられました。確かに子ども達には多くの機会があります。これからもは年配の方々に食べて頂く機会も考えて行きたいと思いました。次の予定は、12月の少年の日フェスティバルと同時開催の収穫祭です。無料配布の予定ですので楽しみに待っていて下さい。

### 『「芳賀地区収穫祭」に参加しました』

今回地域間交流として芳賀地区収穫祭に参加させて頂きました。文化祭の翌週10日の日曜日、朝10時から芳賀公民館で、各町内で作った野菜と一緒に販売いたしました。1時間ちよつとの間だけですが、10人位の列が途切れることなくあつたという間の完売でした。

あまりの売れ行きに、お客様から一人2枚までにしないと買えない人が出そうだね」とアドバイスをもらい、多くの人に食べてもらう事が出来ました。「おいしい」と感想を言って下さる方が多く、本当に参加してよかったです。思いました。「きよさと焼」を初めて食

べて頂く事で、気付かされる事や、やらなければいけない事など勉強になる一日でした。(食育部会長 新井博孝)



「芳賀地区収穫祭」に参加

### まちづくりだんべえ部会

#### 『文化祭』

「AKB48恋するフォーチュンクッキー」を、だんべえバージョンで鳴子を持って踊ろう!」と決まったのは、文化祭間近でした。

今年の文化祭のテーマは「咲かせよう清里の文化」だったので、AKB48の新曲ですが私達らしくパフォーマンスをしよう!と、数少ない日程で打ち合わせや練習を重ね、本番に向かいました。文化祭当日のステージでは大勢の方々に見て頂けて、すごい達成感でした。私達のステージを見て少しでも楽しくなったり、リズムに乗ったりしてもらえたら、大成功です!

来て下さった方々ありがとうございました。



恋するフォーチュンクッキー  
だんべえバージョン

#### 『前橋まつり「だんべえ踊り」』

市民総出でいきいきと踊る前橋まつり「だんべえ踊り」。今年も清里まちづくりだんべえ部会では、大人9人・小学生5人・小学生8人で踊ってきました。また、同日の夜、国際交流広場のパフォーマンスダンスも、観客を盛り上げ、パワフルで元気な清里地区をアピール出来ました。立川町大通り沿いから手を振って声をかけてくれたり、出演時間を聞いて見に来てくれた方々、本当にありがとうございました。また、多くの関係者様の支援とご協力、感謝致します。



「前橋まつり」参加

私達と一緒に、『そうだんべえ、そうだんべえ』となんだか癖になるこの曲で、親も子どもも楽しく踊りませんか。お待ちしております。

(まちづくりだんべえ部会長 植木直子)



そうだんべえ、そうだんべえ

### 花いっぱい運動部会

#### 『花いっぱい部会の活動』

花いっぱい部会では、10月9日に「秋の花散歩」とピオラの鉢上げの講習会を行いました。

秋は花が少ないのですが、スカイブルーのセージ、白のマリーゴールドなどが咲いていてツリバナの赤い実が景色に彩りを添えていました。

また、ギボウシは花が終わり、葉の縁が黄色くなり始めたところが思いのほか美しく、秋の雰囲気を感じていました。散策しながら「植物は、どんな時も美しい。」というターシャ・テューダーの言葉を思い出しました。

10月18日に千葉県柏市の地域づく



ピオラの鉢上げの講習会

りの団体である「柏ふるさと協議会」が前橋市の地域づくりについて視察にみえました。その中で清里まちづくりの花いっぱい部会の活動について聞きたいとのことで、平成20年から現在までの事業について説明しました。地域の空地を利用して自分たちの手で多くの花壇を管理していることに柏市の方々から賞賛を頂き、今後の活動の励みになりました。

(花いっぱい運動部会長 櫻井恭子)



「柏ふるさと協議会」への事業説明

### 各町の話題

#### 池端町

##### 『十日夜』

池端町では、伝統行事の十日夜が11月16日午後1時より池端公民館で開催されました。小春日和の最適な日となりました。

清寿会の皆様には、十日夜に欠かせない“わら鉄砲”造りをお願いしました。わらを束ねて縄で力を入れ、ぐるぐるしつかり巻いて手で持つ所を輪にして縄で巻いて出来上がりです。

「十日夜はいいもんだ、十日夜はいいもんだ……」と畑のもぐらや野ねずみを叩き出すという行事です。

生涯学習奨励員の木暮さんが紙芝居で十日夜の意味をお話して下さいました。白で餅をつき、あんぴん餅を丸めたり、きな粉で手や顔を汚したり、PTAの方々のポップコーンや綿あめも子ども達がつくりました。今では老人会・自治会・PTA・子ども達の楽しい交流の場となっています。大人になっても、ふるさとの思い出の一つになればと願います。皆様のご協力に感謝申し上げます。(自治会長 新井 孝)



#### 上青梨子町

##### 『上青梨子町秋祭り』

上青梨子町恒例の秋祭り「第三十四回、樽神輿、百万遍」が、10月20日(日)に自治会、清寿会、子ども会の皆様にご協力いただき開催されました。当日は、朝からあいにくの雨でしたが、神主様のお祓いを受けた後、樽神輿をかついだ子ども達の「ワッショイ、ワッショイ」と言う元気なかけ声が、淡嶋神社境内に響きわたり、境内とその周辺を元氣よく回りました。また百万遍では、清寿会と子ども会で大きな輪を作り、それぞれの願いを込めて念仏を唱えながら、大数珠玉を順送りに回りました。長い年月を経た大数珠玉は、故人の追善、ひとり一人の祈祷、極楽往生の願いを乗せ何回も人々の間を回りました。

会食の後、アトラクションでは日本舞踊、手品、ハーモニカ、ピンゴゲーム等で舞台が盛り上がり、参加者の皆



十日夜の「わら鉄砲」造り

様と共に楽しいひとときを過ごしました。恒例になっているバザーでは、子ども会保護者の皆様を中心に、前日から準備をして下さり、当日は早朝より各部署で頑張っていたきました。上青梨子子ども会はこうした伝統行事を実施しつつ、地区の皆様が世代を越えた人々とのふれあいの中で信頼関係を築いてきたと思います。

多くの皆様のご協力を頂き秋祭りがつつがなく遂行できました。書面をおかりし、心よりお礼を申し上げます。有難うございました。

### 青梨子町

(自治会長 湯浅勝彦)

### 『納涼祭と収穫祭』

良く晴れた青空の下、9月1日と2日に多数の参加者を得て納涼祭とさつまいもの収穫祭を行いました。

納涼祭は、本格的な落語の公演、一口顔負けの絵画・書道・写真・手芸の作品、また歌・踊り・演奏等の演芸を披露され大盛況でした。

さつまいもは、やや小振りでしたが親子・お友達同士・高齢者等がお互いにお互いにお互い、様々なグループの共同作業によりたくさん収穫が素早くできました。

持ち帰ったさつまいもは、お家で焼いたのか、蒸かしたのかそれも興味津々です。

来年も期待しよう。待ってるよ！

(自治会長 関根一雄)

### 青梨子町前原

### 『ふれあい・いきいきサロン』

ふれあい・いきいきサロンは、高齢者(七五歳以上)を対象に気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら楽しく雑談し、情報交換の場所づくりをめざしております。なお、運営主体は、民生委員・保健推進員・介護予防サポーター等で行っております。

基本的に毎月第一月曜日に、前原集落センターにおいて毎回テーマを変え講師を招き、楽しいひとときを過ごしております。

上半期は、ハーモニカの演奏や三味線の演奏などで、童謡及び歌謡曲、民謡などを歌いみんなで昔を懐かしみ楽しく過ごしております。

またその他には、輪投げ大会や七夕飾り・体力測定・心肺蘇生法およびAEDの使用法などを学んでおります。

下半期は、3月に予定されている、文化祭に向けて展示用としての折り紙及び壁飾り制作を予定しております。また、芸能発表の出演をめざして歌の練習等も予定しており、本番に備えております。

なお、これから新年度にむけて、サロンの運営委員会を開催し新年度行事予定を検討し会員の皆様に提案し準備を進めていきたいとおもいます。

(民生委員 松島 裕)



前原地区  
ふれあい・いきいきサロン

### 清野町

### 『八幡宮の秋祭り』

10月14日、八幡宮の秋祭りが行われ、子ども獅子舞・大人獅子舞が奉納されました。秋祭りを行うにあたり地域の皆様方をはじめ、たくさんの方々のご協力を頂き心より感謝申し上げます。

(子育連清野支部長 伊藤正樹)



野良犬の獅子舞

### 編集後記

木枯らしが吹く季節になりました。気温も下がりがり、暖房も必須となります。ここで気になるのが、暖房することによる結露の発生です。結露は、ガラス窓だけではなく壁の内部にも発生します。この結露により、家の構造が傷んだりカビが発生したりします。そして、カビの胞子がアレルギーの原因になったりします。結露は、空気が温度の低い物体に触れた時、飽和水蒸気量を超えた分の水蒸気が液体に変わったものです。結露を防ぐ方法としては、必要以上に暖房の温度を上げない、加湿しない。温度が高いほど飽和水蒸気量が増加しますので、結露したときの水の量が増えます。

換気をする。特に風呂や台所などの水場では湿度が高くなりやすい。家の中の温度差を減らす。水蒸気は、温かい所から寒い所へ流れて行きます。特に局所暖房の場合は注意が必要です。暖房したところで発生した水蒸気は、寒い所へ移動して結露してしまいます。壁内結露を防ぐためには、家の構造から変えなくてはなりませんので、これから家を建てる方は業者に相談してください。

上手な暖房を行って、健康で快適に冬を乗り切りましょう。(SA)

